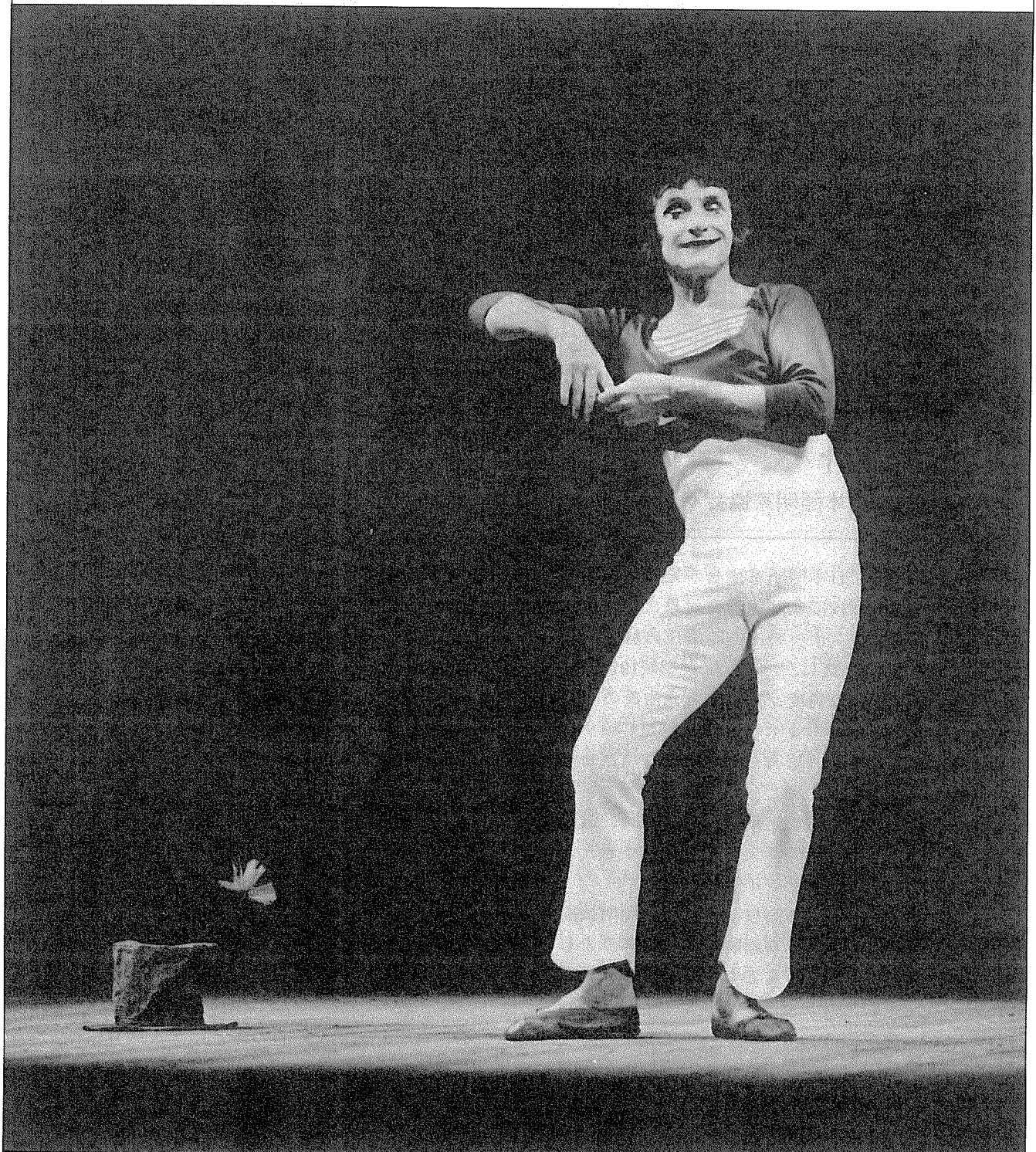


次の動作への経過を全く見せず、洗練され抜いた筋肉の動きと呼吸との一体化によって、瞬間的に思いがけない世界を広げるパントマイム。優美な線を操り、観客の期待を最高にたかめながらロマンを語るクラシックバレエ。

あなたは、どちらに光を充てたい？  
いつも舞台を眺める側に立つあなた。演者の間については精通しているあなた。  
でも、呼吸を考えたことがありますか？——  
彩りが変わるかも。

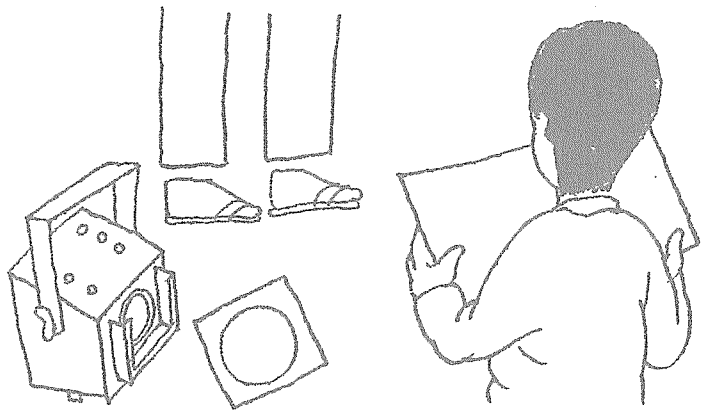


## 高校演劇の中の照明

# 常磐高等学校の“廬山夜雨”

昭和53年度演劇技術講習会“舞台照明の実際”―「群馬県演劇部会」

と き ● 昭和53年9月17日(日)  
 ところ ● 常磐高等学校  
 主 催 ● 群馬県青少年演劇協会  
 ● 群馬県教育委員会



岩品 健介

社団法人 日本照明家協会々員 / 日本劇場技術協会会員 / 株式会社 共立

「廬山夜雨」は、日本照明家協会が先に秋田県のアマチュア演劇・高校演劇関係者を対象にとりあげ、協会側から照明プランナーの山内晴雄氏の解説担当で好評を得たもので、更に、マルモニュース(1978-1-VOL-27)には、別な角度から、牛丸光生氏の「照明ノート(照明プランの作り方)」と題して解りやすくかかれていたので、筆者も大いに参考にさせて頂きました。

また、素材上演校の「角館南高校」の顧問、遠藤康先生及び照明係担当の二年生の佐々木浩子さんの感想記を興味深く拝読させて頂きました。

上記のように、群馬県の高校演劇部会の照明技術講習会に招かれて、いささか面映ゆい感もありましたが、先づは、つとめを果して参りました。改めて御礼申し上げます。

さて、素材上演校である“常磐高等学校”の視聴覚教室での技術講習会ですが、当日、開会の挨拶のあと、すぐにモデル上演を行い、つづいて、演ぜられたばかりの舞台について、事実在即した照明技術

の解明を行い、午后よりは、部分的に素材上演のあとを追い乍ら、実際に明りを入れて説明し、更に、舞台照明の基本に触れて、散会致しました。

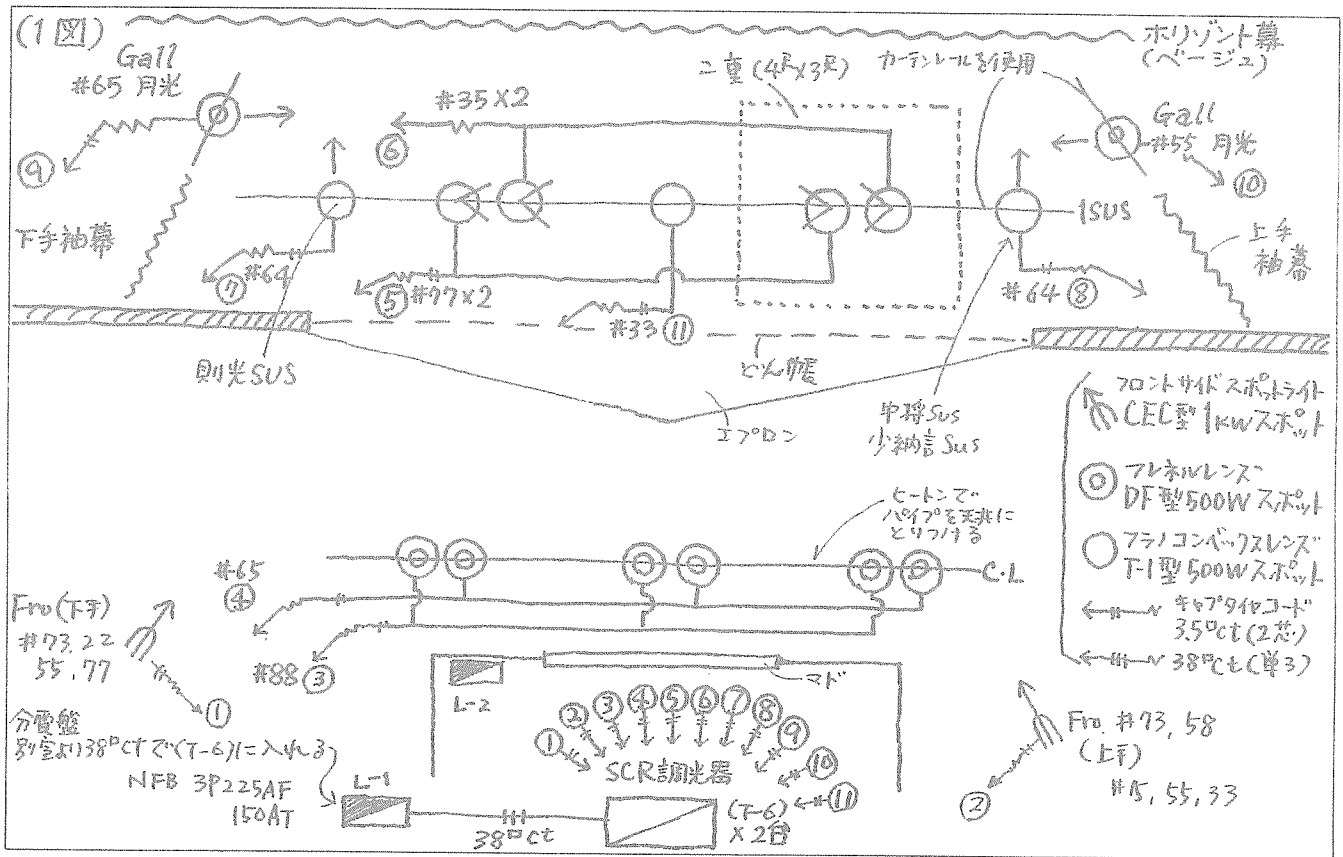
始め、群馬県の演劇部会事務局より、此のお話しを聞き、担当の東毛地区部会の萩原康靖先生と打合せをした際、「マルモニュース」をさし上げて、参考に供して頂きました。

視聴覚教室での照明の作り方については、先に埼玉県立志木高等学校での「荻の花」をマルモニュースで紹介したことがあるので、合わせて再読をお願いして、本文に移りましょう。

視聴覚教室は、間口はとも角、奥行がなく、両袖のふところも浅いので、照明の仕込みは勿論のこと、すべてがミニサイズになります。

おそらく、秋の予選には、衣裳も、舞台装置も出来上るでしょうが、当日は、教壇を二つに折ったような二重を中央よりやや上手よりにのせただけの、本当に舞台照明の為の舞台になりました。

それだけに、かえってわかり易いものになったと思います。

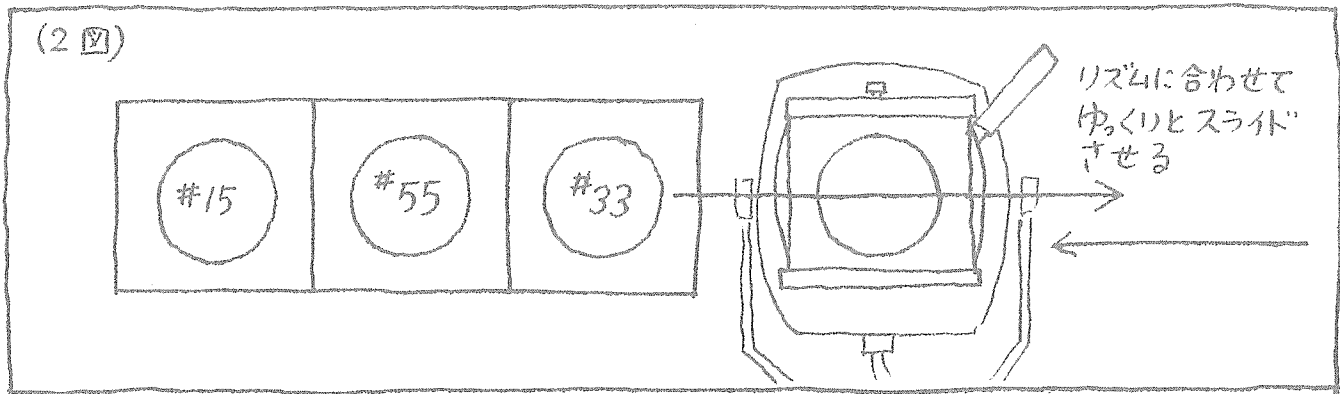


ごらんのように、配線はすべて仮設で、3.5スケアのキャプタイヤコード（2KW以上と3KWまでの電流を通すゴム被覆のコード）を使用し、それを11回線にまとめてSCR可搬型調光器（T-6型）2台につなぎます。幸い別室に分電盤があり、全容量30KWを使用出来るものであったので簡単に単相三線式の38スケアの3芯キャプタイヤコードで直接ディムパックに電源をつなぐことが出来ました。キャプタイヤコードの量は全部で200m位用意しました。スポットライトの数も、T-1型500Wスポットライトが7台、DF型500Wスポットライトが8台、CEC型1KWスポットライトが2台（スタンド付）という極めて小じんまりとした仕込みになり、したがって総電気容量も、サスペンションライトとして使用した分が7.5KW、それに、フロントサイドスポットライト用として2KWで、計9.5KWですみました。つまり、10KW迄の容量で出来る舞台照明ということになります。ただし、よく忘れられるものに、キャプタイヤコードが意外と沢山要ることと、変換コードの類と、ショートハンガーをあげておきます。ディ

ムパックの必要なことは近頃の高等学校では常識になって参りましたが、やはりこれを取り付けて便利に使うとなると、設置工事費が必要になります。

すべて仮設仕込みで済みます場合は、かなりの時間を要することになります。そして、そのことも、実は、照明技術講習の大切な基礎をしめているものと云えます。素材上演校は大変なのですが、講習会当日ではわからない仕込みにかかる部分が少し解って頂けることで勉強になるのではないのでしょうか。

例えば、カーテン・レールを利用してのサスペンションライトの吊り方、ヒートンを天井にねじ込みそれにバインド線（ビニール被覆針金）でパイプを吊り、シーリングライトボタンにする方法、12尺のアルミ製脚立があれば、それも仕事が楽なのですが、梯子では高い所での作業はあまり能率のよいものではありません。まして、体育館の舞台では、スノコ迄の高さが5m以上はあるでしょう。そうなる、も早や、ローリングタワーか、昇降装置のついたものでなければ、殆んど作業は困難なことになります。まして、スノコのない体育館では、サスペンション



ライトボタンを設けることは面倒になります。

さて、仕込みに要する時間と労力の話はそこ迄にして、スポットの数はどうして決まるのでしょうか。

(1 図)をよく見て、台本を読んで下さい。

先づ、1幕と3幕は草庵です。そして、1幕は、秋の末。日がとつぷりと暮れた直後とあります。夕焼けも消え、夜になっている頃です。老女のセリフにも、「月かげばかりと思ったのに……」とあり、月光のさしている秋の夜長ということになりましょう。

3幕は文字通り「廬山夜雨」です。月はかげって、いまにも降り出しそうに重い。やはり夜です。

やがて、はらはらと雨が降り始めます。

晩秋の雨は冷い。

2幕は宮中での過去の思い出です。季節はどうやら春で、それも宮様のお帰りを待つばかり……と家事の一段落をつけて、宮様の出仕した後のほっとした一時ひとときのようです。

これは、春の日中を設定すれば、当然昼間の明りが必要になります。しかし、演出方針では、過去の出来事として、幻想的な場面にしたいという希望があったので敢えて、当初予定していたW(なま)明りを止め、ムードのある場面に変更して、プランをまとめることにしました。地明りは1 SUSに#35(アンバー、淡橙色)葉種油の灯芯の灯、秋雨の夜の#77(ブルー)灯芯の灯を中心にした#33(橙色)の中と台上に当たっているサスペンションライト。

月光用のギャラリーの上下の#65と#55(グリーン)の Horizont 幕のタッチも兼ねたスポット。

そして、シーリングに#65(淡いブルー)と#88(淡い藤色の明り)、フロントサイドからは、#73(少し紫がかったダークブルー)の前明り兼 Horizont

当て、これは上手を#73にし下手を#58(グリーン)にして、Horizont タッチの月光と合わせ、アッパー Horizont ライトとロー Horizont ライトの役目も果します。その他、幻の SUS には、中將と少納言(上手側)則光(下手側)に#65(淡青色)を入れ、2幕の終りに「音楽が聞えて、上手下手に華やかな春を楽しむAとBが立つ。」のところで、演出はAとBに舞いを舞わすのですが、その時にフロントサイドスポットで(カラーホイール効果)色を三色((下手)#22、#55、#41・(上手)#15、#55、#33)連ねてスライドさせる仕方で舞台一杯に明りを拡げたまま踊りをフォローします。

春の宴げ。そんな感じが舞台にみなぎります。(時間があれば三連の色の組み合わせをもっと考えてみると面白いでしょう)。

そして、スペース(舞台演技空間)の関係から、地明りを2台1組にしてぶっちがいにし、都合#35と#77の2組のスポットを吊ります。幻の単 SUS は上下に1台宛で良いでしょう。月光は普通は下手からの#781台で決めるのですが、此の場合は、Horizont 幕当ても兼ねているので、上手からも#55で緑の月光をつけてみました。月には青い月、白い月、緑の月、黄色い月、顔の中の赤い月(これは一寸小説の読みすぎ)もあって、緑の月は五月から六月の月を思わせるようなので決して不自然でもないのです。シーリングは地明りと面明りを兼ねているつもりで、薄手の色にし、地明りのスペースから3台1組で2組もつくれば良かったので、自然総台数と総電気容量は前述のようになりました。

キメの細い照明りをつくろうとすれば、可成りの台数のスポットライトと、可成りの回路数と可成り

(図 3)

	1 SUS		C-L		Gall		幻 SUS #65		F.SS	
	#35地	#77地	#88	#65	下手月光 #78	上手月光 #55	則光 (下手)	中将・少納言 (上手)	下手	上手
Q1 1幕 (L.O)	(50)	(80)			(100)	(100)			#73	#73
Q1' どん帷開く	80 /	100 /	100 /	100 /	"	"	60 /		100 /	100 /
Q2 則光の幻 下手出	✓ R	✓ R	✓ R	✓ R	✓ R	✓ R	✓ 0		✓ R	✓ R
Q2' 則光の幻消えて 元に戻る	80 /	100 /	100 /	100 /	100 /	100 /			100 /	100 /
Q3 上中に中将の幻 現われる	✓ R	✓ R	✓ R	✓ R	✓ R	✓ R		60 /	✓ R	✓ R
Q3' 元に戻る	80 /	100 /	100 /	100 /	100 /	100 /		✓ 0	100 /	100 /
Q4 上中に中将と少納言 現われる	✓ R	✓ R	✓ R	✓ R	✓ R	✓ R		60 /	✓ R	✓ R
Q4' 元に戻る	80 /	100 /	100 /	100 /	100 /	100 /		✓ 0	100 /	100 /
Q5 上手より美しい女房達の姿 が現われ舞う	"	"	"	"	"	"			三連で カーネーションを吹す	
Q5' 舞い終り 女房達引込み	✓ 0	✓ 0	✓ 0	✓ 0	✓ 0	✓ 0			✓ 0	✓ 0
Q6 則光の幻 下手出										
Q6' 則光消える							60 /			
Q7 2幕 (宮中) (F.1)	80 /	100 /	100 /	100 /	100 /	100 /	✓ 0		100 /	100 /
Q8 F.O	✓ 0	✓ 0	✓ 0	✓ 0	✓ 0	✓ 0			✓ 0	✓ 0

の電気容量が必要になるのですが、会場の条件の中で成可く簡略化するとこのような仕込みになり、その上で更に、プラン表をつくってゆくことになるのです。

此のプラン表(3)の操作表は、会場に用意してあった黒板を使用したので、今、手許にはない。しかし、ディムパックT-6型2台の中に11回路分を収めたので、〈(T-6)は2台で12回路分のフェーダーがあるので、〉充分間に合った。

多分、(1)#35地明り(2)#33中央SUS(3)#77地明り(4)#88CL(5)65CL(6)月光#78と#55、(1)下手則光

幻SUS(2)上手中将、少納言幻SUS(3)フロントサイドスポットFSS上手スポットライト(4)FSS下手スポットライトを組み入れたように思う。或いは、始め月光を二つの回路に分けていた様に思うが、これは、結果的に二つに分ける必要がなくなった。仮りに、フェーダに余裕があり(2回路分⑤⑥)、スポットライトT-1型500Wスポットがもう2台あれば、舞台前から各1台宛を#88でも入れて顔のみに当てれば、幻の則光と中将・少納言がますます舞台にうき上ります。

これはフロントサイドスポットのフォローでカバ

(図4)

	I SUS			C・L		Gall		少納言 #65		FSS	
	#35	#33	#77	#88	#65	下手 #78	上手 #55	下手 則光	上手 中將少納言	下手 #73	上手 #73
Q9 3幕 (F.1)	50 /	60 /	80 /	80 /	80 /					70 /	70 /
Q10 上手中將現われる	✓ 0	✓ 0	✓ 0	✓ 0	✓ 0				60 /	✓ 0	✓ 0
Q10' 中將消える									✓ 0		
Q11 元に戻る	50 /	60 /	80 /	80 /	80 /					70 /	70 /
Q12 少納言上手に現われる	"	"	"	"	"				60 /	"	"
Q13 はるとあきの2人下手に去り 老女少納言お互を見つめる	✓ 0	50 /	60 /	50 /	"				"	60 /	60 /
Q14 下手に則光現われる		"	"	"	"			60 /	"	"	"
Q15 老女 則光の別れの言葉に 則光「ま! で、おつの方に廻み 又上手の若い女房Aの女丁に逢 よるとするとAは消える		"	"	"	"			✓ 0	"	"	"
Q16 ラスト はらばらと雨が 降り始め 少納言の女 次第にうすれて行き 老女は力なくうすまり		35 /	45 /	✓ 0	50 /				60 /	✓ 0	✓ 0
雨、はいはいと強く 降る。(L・C)※		30 /	40 /	✓ 0							

※とどろきの降り始めと同様にほんの少し明りを残す程度にすること。

一して見て、技術的に少し困難なようでした。

それはさておき「廬山夜雨」は榊原政常先生の「しんしゃく源氏物語」と同系列の作品かと思いますが、後者より、より現代に通じる生活色の強い作品のように思えます。

則光を通してみた社会への視座、しんしゃく源氏の姫の奥ゆかしいまでの、諦めを超えて信じることによって命を支えて生きているいじらしい姿に比べ、これは、則光を翻弄し、則光の、「あなたは夢ばかり見ている。現実が見えないんだ。」のセリフに対して、「そうかしら。随分はつきり見ているつもりですけ

ど……」というあたり、亦、海女舟の話の件や、自嘲めいた笑いの後の「一生才女の仮面をかぶって…」云々にみられる少納言のするどい自己洞察、今流に云うところのさめた人間観察の目は倦むことを知らない。女性の宿業の綾なす糸の運命に生きる少納言のなれの果の老女に、榊原戯曲の真骨頂を伺い知ることが出来ると云うと少し云いすぎになるでしょうか。

皆さん、機会があれば、是非「廬山夜雨」の照明をつくって見て下さい。

## 卒業記念に 舞台照明設備を贈りませんか

「受験地獄」なんてイヤな言葉が流行して久しくなりますが、「他人をケ落しても自分が」という風潮になってトゲトゲしいですね。

文部省でも教育の現状を考えて「ゆとりある学校生活」というキャッチフレーズでなんとか楽しい豊かな教育環境をつくろうと努力を始めました。

スポットライトがあれば学芸会、音楽会などいままでと違ったものになります。

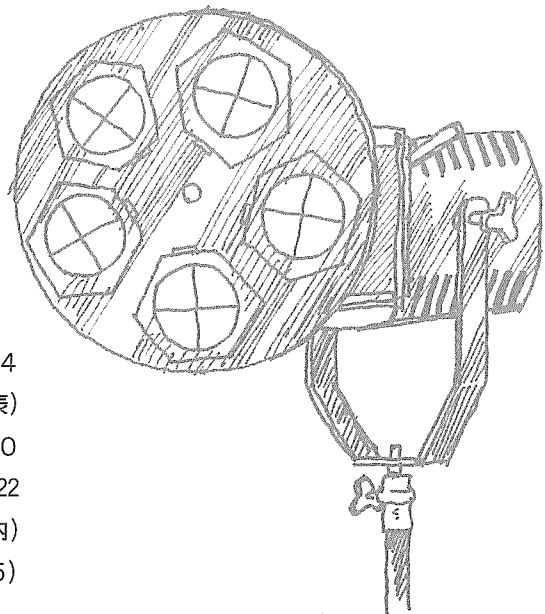
卒業生、父兄、先生方いつも熱心に「教育」を考えておられる皆さん、学園に創造性豊かな楽しい勉学環境をつくろうではありませんか。

マルモがその手助けをいたします。

---

CEC-1,000w＋カラホイル＋  
アイリスシャッター＋スタンド  
1台 ¥96,400

---



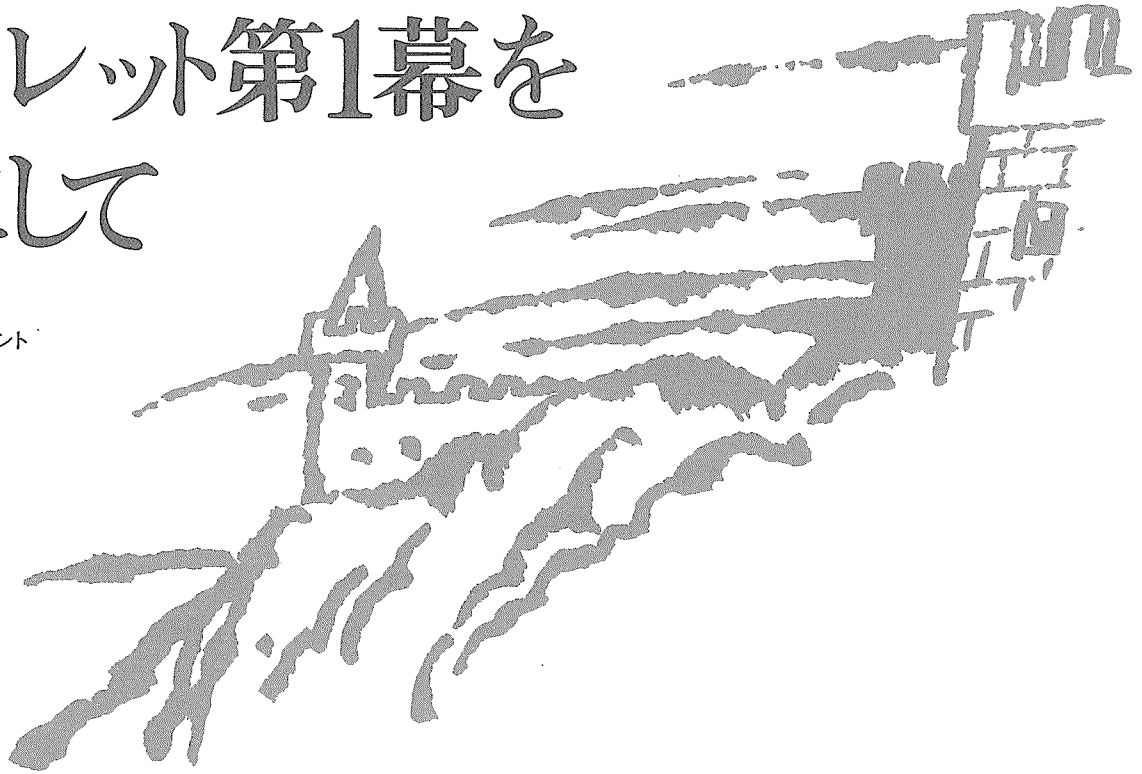
本 社 東京都千代田区神田須田町1-24  
営 業 部 〒101 T E L 03-252-0321(代表)  
大阪出張所 大阪市 北区 神山町 6-10  
〒530 T E L 06-312-1913・1922  
名古屋出張所 名古屋市中区栄4-1-1(中日ビル内)  
T 460 T E L 052-261-1111(内425)

## 演劇照明のノート

# ハムレット第1幕を 例にして

舞台照明コンサルタント

牛丸 光生



演劇照明では、光の明暗、光と影、光の方向、光の変化、光を色彩による光の配置を基本として舞台を構成しています。

これを5項目にわけて

- 1) 舞台及び演技者をみせる。
- 2) 舞台上の情景の説明(時刻、季節、場所、天候、方位)や、自然の描写、回想、幻想、等の雰囲気構成する。
- 3) 舞台装置、衣裳を光の明暗、色彩の濃淡、光の変化等で効果的にみせる。
- 4) 時間の経過、舞台空間の転換を表現する。
- 5) 脚本の内容を表現し、登場人物の心理表出に協力し、演技を助ける。

以上の5項目を、シェイクスピア作「ハムレット」を例にとって説明しましょう。

シェイクスピアは、謎につつまれた劇作家で、「ハムレット」「マクベス」「オセロー」「リア王」の四大悲劇が前後4年間で創作されたことも謎なら、生れた年月日も不明。記録では1564年4月23日となって

いますが、これも不明です。18才の時、結婚して3人の子供をもったといわれています。また役者になるまで馬の番人をしていたともいわれています。

シェイクスピアは地球座で数々の作品を上演しましたが、当時のエリザベス朝時代ではパブリックシアターと呼ばれた成人劇団と、プライベートシアターと呼ばれた少年劇団にわかれていました。

プライベートシアターは劇場形式ですが、パブリックシアターは地球座のように3階建の半円形で、ふきぬけの中庭があり、客は立ち見をしながら、お互いに喋ったり、食べたりしながら観るというマナーの悪い観客でした。もともとパブリックシアターは、宿屋の中庭、ヤードといわれる場所から発生したもので、昼間公演の行われる日には、檜の上に旗を立てて、開演するぞと知らせたのです。

当然、雨天は中止、まるで甲子園の高校野球と同じです。屋外の公演には「あかり」は必要ではありません、自然光の下で、俳優が朗々と演じたものです。当時の芝居は、「観る」ものでなく「聴く」もの



でした。装置や照明、音響効果のない時代でしたから「ことば」で観客は想像したものです。

例えば第1場のエルシノア城の前の高台で「ほら、ごらん、朝が赤いマントを着て、あの東の丘の露を踏んで歩いてくる……」この「せりふ」で、観客は想像の羽を拡げて、自由に觀賞したものでした。

「ハムレット」の第1幕の簡単なストーリーを述べます。

第1場は、デンマークのエルシノア城から物語が始まります。歩哨のバーナードと、フランシスコが交替の時間に、ハムレットの友人のホレーショと将校のマーセラスが、先王の亡霊に出会います。

第2場は、王位を得たクロディアスの戴冠式の日で、王子ハムレットだけが喪服を着ています。クロディアスはノールウェイのフォーチンブラスを取り押えるための使者を派遣し、宰相のポローニアスの息子、レアチーズがフランスに戻りたいという希望を許し、ハムレットがデンマークに留ることが決まります。王達が祝宴に去ったあとで、ハムレットはホレーショから、亡霊の話を聞きます。

第3場はポローニアス邸で、レアチーズの出発の日、妹のオフィーリヤに王子ハムレットが寄せる愛情についてさとしてしています。そこに父親のポローニアスが、処世の術をこまごまと注意します。レアチーズが去ったあと、オフィーリヤに、今後ハムレットに声をかけてはならぬと命じます。

第4場は、城壁の上でハムレットとホレーショが亡霊に出会います。引きとめるホレーショとマーセラスの手を振切って、亡霊の招くまま、ハムレットは消えていきます。

第5場は、城壁の下の空地で、亡霊は、ハムレットに復讐せよと告げ、ハムレットは剣にかけて誓言します。こうして「ハムレット」劇の第1幕の幕が降ります。

## 1) 舞台及び演技者をみせる。

「ハムレット」の第1幕で、亡霊が出てきます。演出上の問題もありますが、「亡霊」をどう見せるかということが、「あかり」をつくることで大事なこと

とです。「亡霊」に対して、生きている人間（ハムレット、ホレーショ、マーセラス等）との対比をまず考えてみます。この場合では生きた人間と、死んだ人間を同時に観客にみせなくてははいけません。

シェークスピア劇とは「マクベス」の妖婆や「ハムレット」の亡霊をどう見せるかということが、興味のあるところで、「あかり」の腕の振るいどころがあります。

俳優をみせるということは、必ず全身をみせるという必要はありません。顔、上半身というみせかたもあります。特に亡霊の場合は全身をみせることよりも、一部分に絞って見せる方が効果的です。

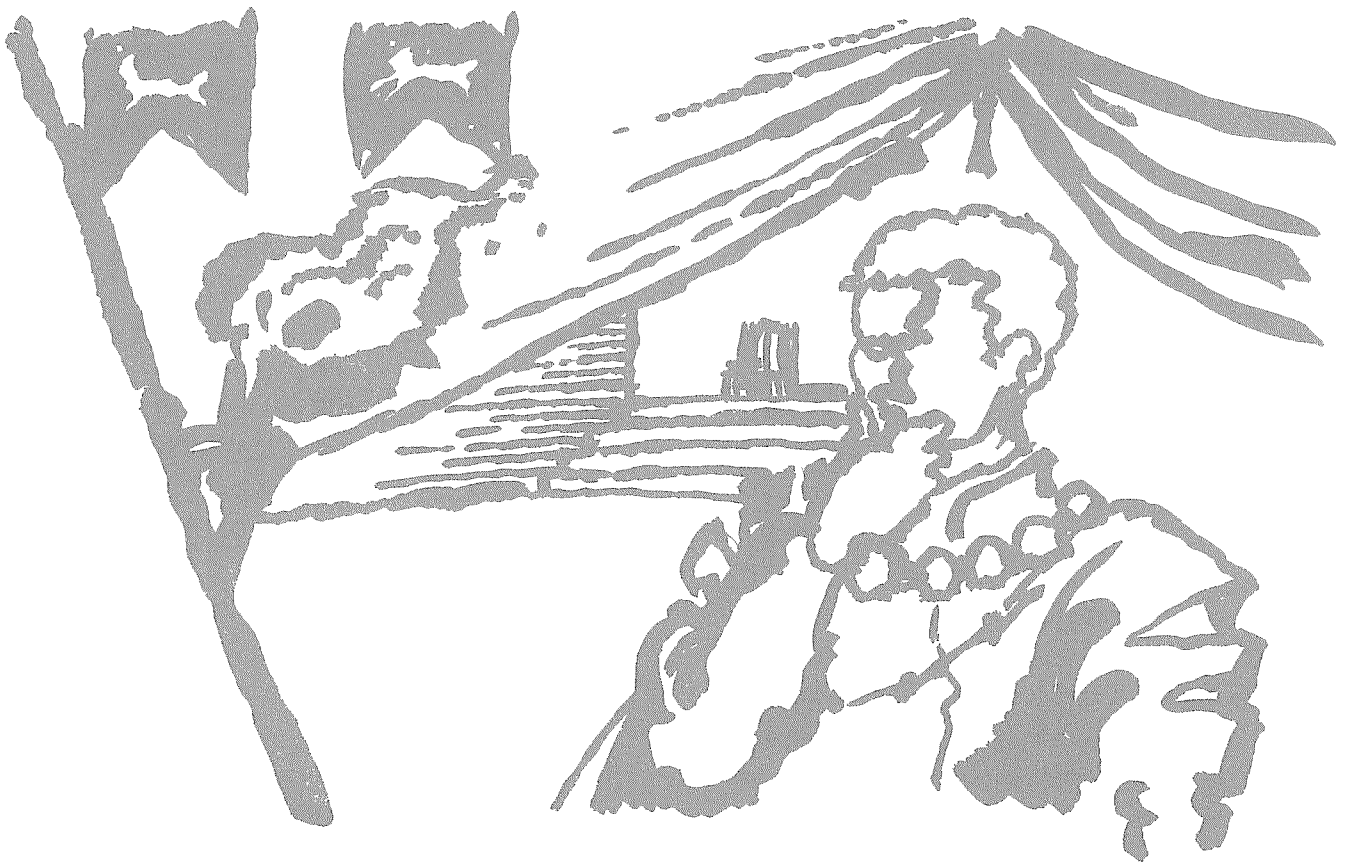
また、舞台をみせるという場合は、光と影によって、立体的につくる方が、亡霊の出現に効果的です。このように、演技者や舞台をみせる基本の「あかり」を場面によっては「光と影」の基本をつくるように考えます。

## 2) 舞台上の情景の説明（時刻、季節、場所、天候、方位）や自然の描写、回想、幻想等の雰囲気構成する。

第1場のト書に“星のきらめく寒い夜、鐘が12時を報じる”とあります。見張り役のフランシスコとバーナードの会話で、ひどい寒さということが判ります。時刻—深夜、季節—冬、天候—晴天、場所—エルシノア城壁、方位—北斗星の西にみえる星が光っている同じ場所に、亡霊が現われる。ここまでは情景説明です。

しかし、シェークスピア劇の本質は、情景描写で計り知れないのです。それは、観客に「観せる」とこと「聴かせる」ことが一体となっているので、時間や季節を跳んで、自由自在に展開するからです。ギリシャ劇以来の三一致の法則（筋や行為の一貫性、時間の限定、場所の同一）といったそれまでの劇構成の基本を全く無視して創造されています。ここにシェークスピア劇の面白さがあります。

「あかり」の場合は、情景説明にこだわると、4場は満天の星空を作らなければなりません。情景説明を手段とするのはよいのですが、ここでは「目的」



である必要はありません。情景説明は「あかり」の基本のデッサンとして考えて下さい。

### 3) 舞台装置、衣裳を光の明暗、色彩の濃淡、光の変化等で効果的にみせる。

1場と4場の亡霊の衣裳も難しいと思いますが、原作では甲冑に身を固めとあります。

「ハムレット」の舞台装置は当時ではプロセニウムステージ（額縁舞台）でなく、エプロンステージ（張出し舞台）で、観客と交歓出来るように客席に張出していました。現在も、装置は説明的装置でなく能舞台のように簡単な装置が基本になっています。これは長い間、装飾的や写実的な装置から、また原点に戻ってきたようです。

このような装置を基本とすると1場から5場まで、よどみなく転換し進行することが出来ますが、ここで「あかり」の役割が必要となってきます。観客に

は、城壁とみえ、時によって城内の大広間とみられるように考えなくてははいけません。シェークスピア劇は古来さまざまな技法で創られてきました。これと定った装置はありません。ここに「あかり」をつくるむづかしさ、たのしさがあります。

衣裳では2場のハムレットの黒い喪服が印象的で観客の視野のなかにあるように考えます。

装置も衣裳も含めて舞台美術といいますが、照明もその舞台美術の枠のなかにあるのです。

### 4) 時間の経過、舞台空間の転換を表現する。

5項目のなかで「あかり」の武器ともいえるのが、この時間の経過と舞台空間の転換なのです。朝から夜、夜から夕刻へ、晴天から嵐の場面にと一瞬に舞台を変化させるのが、「あかり」の特性です。また城壁の場から一瞬にして大広間の場へと転換出来るのも、「あかり」だけが作ることが出来るのです。

1場のホレイショの“あの空、朝日が、赤いマントをひろげて東の尾根をこえてくる”。

これは時間の経過です。第4場から5場へ城壁に沿った空地へと移行するのも、溶暗、溶明によって観客に別の場面と判らせることが出来ます。

舞台装置で一瞬の間に他場面に移行することは不可能ですから「あかり」の特性を最大限に発揮することが出来ます。1場の城壁から2場の大広間は、部分照明から全体照明へと拡散することでも「あかり」の構成として考えられます。

## 5) 脚本の内容を表現し、登場人物の心理表出に協力し、演技を助ける。

1場の暗黒の照明から2場の輝くような明るい照明、3場の落ち着いた照明から4場の不気味な照明と、明暗や光の変化、色彩で劇的效果をつくります。

「あかり」をつくる場合、登場人物の多少は非常に大事なことで、2場の登場人物は、デンマーク王クローディアス、その妃ガートルード、重臣たち、ポローニアスとその息子レアティーズ、ヴォールマンド、コーニーリアス、最後に王子ハムレットとなっています。

3場では、レイアティーズ、オフィーリアとポローニアスの3人だけです。2場は「あかり」として最も明るくみせる必要があります。1場、4場、5場が暗い「あかり」とすると2場は非常に明るく、3場はやや明るいと考えるとよいでしょう。

このように、場景毎の「あかり」のつくりかたで、登場人物の心理表出に協力します。

1～5項をイメージ化して、照明器具や照明設備を使う道具として実際化します。実際化の作業が照明操作です。

この5項目は照明プランの基本ですから、道具を使う前にどうしても必要なものです。

正しい照明プランをつくる場合に、この5項目をよく把握し、分析して、作品を表現することが肝要です。

演劇照明では、まず戯曲の主題を具体化して、演出方針の意図を理解し協力し、視覚的に創造することにあります。

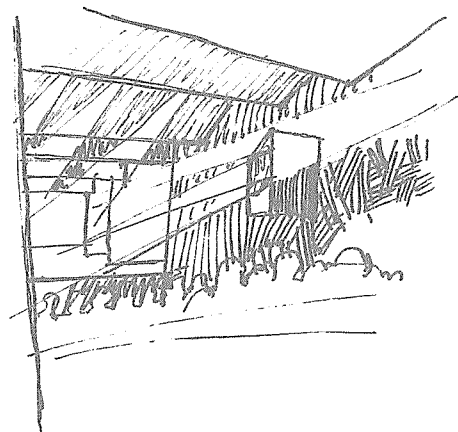
ここにもマルモが

## 小劇場「繁盛記」

いま東京のあちこちで、小さな、あるいは中規模の劇場が盛んに産声をあげている。自前の劇場を持ちたいという劇団、損得抜きで芝居に情熱を燃やす小屋主、街づくりの核にという遠大な野望を持って、その動機はさまざまのようだが昨年の後半から始まった小劇場ラッシュはとどまるところを知らず——そうした都会の流行もあって若い女性を中心に観客を集めている。(読売新聞都内版)

まず最近できた小劇場でマルモが施工したものをあげてみると、東由多加さんが率いる東京ギッドブラザーズの拠点「シャター365」、「劇場を持つのが夢だった」と3年間の辛苦の末出来上った岩崎直人さんの「アートシャター新宿(ジューク)」、池袋にサンシャイン60をつくった新都市開発センターもサンシャイン劇場を作り11月には柿落しの予定。

又、古くは東芸劇場、俳協ホール、池袋シャターグリーン、青年座劇場、劇団すばるの三百人劇場、テアトル、エコー劇場、劇団杉の子の杉の子ホール、新劇のメッカ俳優座劇場などマルモの愛用者である。



# 塾生募集

## 第二回舞台照明 寺小屋塾

### アマチュア演劇の照明講座(含学校演劇)

舞台総合研究室(小川 昇主宰)では、下記の開催要領により参加者を募集します。

#### ●場 所

舞台総合研究室

(東京都千代田区丸の内3-3-1 新東京ビル550号)

#### 内容および開催日時

講 座 項 目
1. 舞台照明の基本的役割 見るために与える光 説明的な照明 形を見せるための光 情趣(ムード作り)
2. 照明の作り方の基本 光のデッサン デッサンの舞台照明的展開 人間というものさし
3. 照明設備について 手作りの照明という意味省略法の考え方
4. 例題による照明作りの研究 参加者の例題提出歓迎

#### ●講 師

原則として当研究室代表小川昇が担当する。但し専門的なことがらについては他の講師が担当する場合がある。

#### ●参 加 費

8,000円(4回を一単位として)

#### ●申し込み方法

所定の申込用紙に記入、参加費を添えて申し込むこと。

#### ●締 切

定員20名、満員になり次第締切ります。

#### 第3回寺小屋塾のお知らせ

12月及び1月は地方の方々のための現地講座の期間としますので詳細は、お問い合わせ下さい。

TEL03472-4108 富沢まで

## 舞台照明関係の書籍紹介

### ■やさしい舞台照明入門

牛丸 光生著

マルモライティングニュースに8回にわたって連載されたものに補足して単行本としたもの  
学校演劇・アマチュア演劇向けでイラスト・図面、写真入り

¥2,000

### ■舞台・テレビジョン照明〔基礎編〕

日本照明家協会編

照明家協会講習会用テキスト

¥2,000

### ■新・舞台用語実用事典

牛丸 光生編

△内容＝大道具の用語 / 小道具の用語 / 舞台衣裳の用語 / メーキャップの用語 / 舞台効果用語 / 演劇愛好家向け

¥1,800

### ■舞台照明

大庭 三郎著

照明家向け

¥2,600

### ■全国劇場ホール設備資料全集(東京編)

各劇場ホールの舞台照明、音響設備、映写設備の明細及び図面が記載されている。

¥16,000

◎いずれもマルモ又はマルモ取扱店で取扱っております。御注文をおまちしております。

### ●編集だより●

卒業記念に舞台照明設備を贈りませんか、のキャンペーンを続けて参りました。スポットライト2台とかデムバックなど卒業記念に贈ることが多くなりました、今年は各学校の卒対係の先生にDMを発送しました、ぜひ皆様からもご推せん下さい。

今年も高校演劇の地区大会の季節となりました、大会を前に群馬県太田地区でおこなわれた、照明講習会での岩品健介氏

の講義を中心に編集してみました。

No.27号 牛丸光生氏の「虚山夜雨の照明ノート」を併せてお読みになると参考になると思います。又照明ランプの作り方など疑問の点がございましたらどしどし質問なり御意見なりを編集までお寄せ下さい。

今回は内木文英先生のとおりあげてみたいと思います。

発行 丸茂電機株式会社

東京都千代田区神田須田町1-24

〒101 TEL (03) (252) 0321(代)

このニュースは弊社からお届けします。